

# AI運行バス実証実験（与那国町）

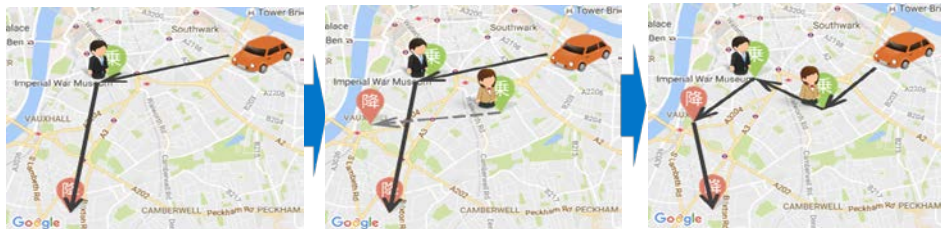
R1.5.21現在

事業者	株式会社NTTドコモ		
事業費	0千円	活用している補助事業	なし
事業概要	<p>概要：生活路線バスで対応が困難な、高齢者等の移動ニーズに対応する手段として、デマンド型のAI運行バスを提供する実証実験を実施。</p> <p>期間：2018年3月21日（水曜）～3月30日（金曜） 各日7:30～18:00の間で実施</p> <p>対象：与那国町の住民</p>		

## 導入のきっかけ(課題)：運転手不足、交通空白地の発生

人口減、高齢化を主な要因として、交通空白地は全国で年率約25%で拡大。地方だけでなく都市部でも広がる。一方で観光地、レジャー施設近辺での交通渋滞は、全国約6,000ヶ所で発生している。

本実証実験では、与那国町の祖納・比川・久部良の三集落を中心とした区域を対象とし、お年寄りの方や与那国町にお勤めの方など地域住民の方を対象に、生活環境の利便性向上へ向け、「AI運行バス」を提供。今後の新たな公共交通手段として地域住民の多様なニーズに効率的に対応するために課題を把握し、実現に向けた可能性について検証。



## 実証結果

- ・実証実験期間中、**高齢者を始め、幅広い年齢層の住民**が利用
- ・デマンド交通の導入について、**地域住民の利用ニーズ**がある事を確認

